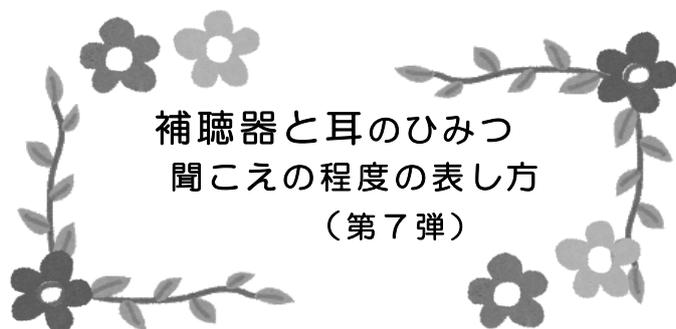


音きこえのノート

奈良県立ろう学校 聴能部

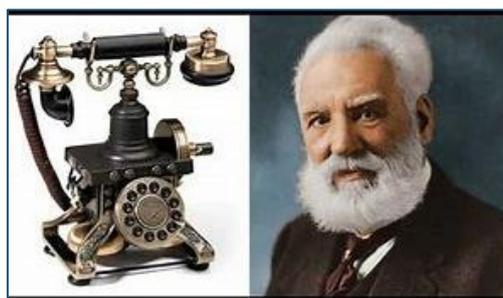
2020/1 第 353 号 (抜粋)



補聴器と耳のひみつ 聞こえの程度の表し方 (第7弾)

重さはkg やg、長さはkm、m、cmなどの単位をで表します。
では音の大きさを表す単位は
なんというのでしょうか？

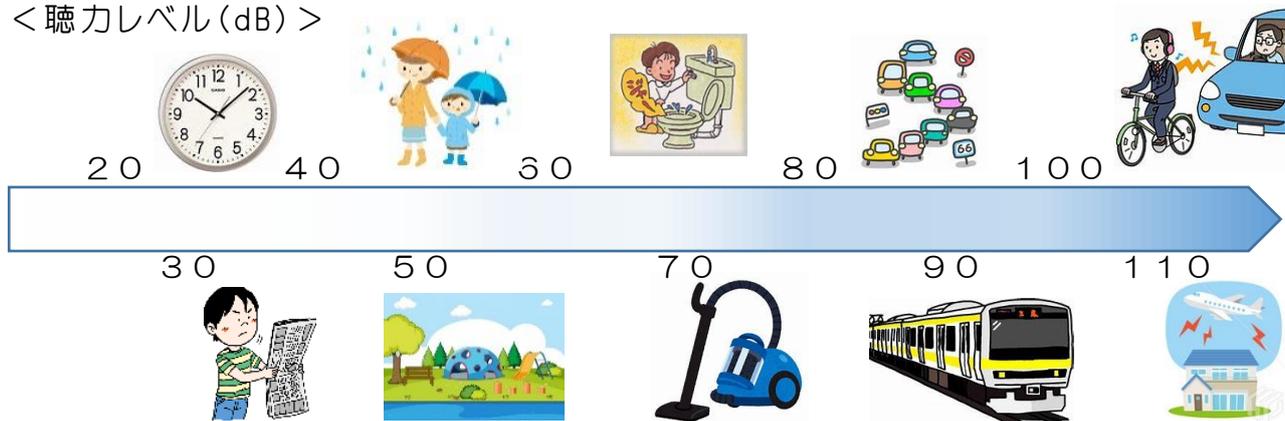
音の大きさや耳の聞こえの程度は、デシベル(dB)という単位で表します。このデシベルの「ベル」は、電話を発明したグラハム・ベルにちなんだ単位です。ちなみにデシは「10分の1」という意味です。



耳の聞こえの程度を聴力、これを数値で表したものを「聴力レベル」といい、聞こえの正常な人が聞き取れるもっとも小さな音の平均値を0dB とし、この数値が大きくなるほど、聴力が低下していることを表しています。

音の大きさと身近な物の大きさを表にしてみると、下のようになります。

< 聴力レベル (dB) >



音の大きさ (dB)	身近な音	音の大きさ (dB)	身近な音
20	時計の秒針	70	掃除機
30	新聞をめくる音	80	交通量の多い道路
40	小雨の降る音	90	電車の通過音
50	静かな公園	100	車のクラクション
60	トイレの洗浄音	110	ジェット機の飛ぶ音

参考：加我君孝 監修 (2017)『耳と補聴器のひみつ』株式会社 学研プラス 発行
日本建築学会 建築物の遮音性能基準と設計指針